

東京経済 東経情報会
鹿児島支社

不良債権処理など詳説

東京経済(株)鹿児島支社 島サンロイヤルホテルで
は4日、鹿児島市の鹿児島 東経情報会を開き、建設



日本経済の動向などについて学んだ情報会
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

業者らが多数参加して、
今後の日本経済や建設業
界の動向などについて学
んだ。

同会では、テレビ朝日
経済記者の赤池洋二氏が
「大波乱の日本経済」と
題し講演。この中で、イ
ラク、北朝鮮問題による
影響や日本における不良
債権処理問題などについ
て専門的な立場から詳細
に説明した。

このあと、福山正人東
京経済(株)鹿児島支社長が
「県内進出企業の動向」、
佐藤裕一同志社調査課長
が「鹿児島地区・話題注
目企業」の演題でそれぞれ
解説した。参加者は、
今後の日本経済や建設業
界の動向などについてメ
モを取るなど聴講した。

県産材活用の構造等
県建築士会女性部会が見学

上野原 縄文の森



連穴土坑による調理実習など行った見学会
＝国分市の県上野原縄文の森で

県建築士会女性部会
(阿多範子部会長) は2
日、本部をはじめ大島支
部など7支部から会員と
その家族を含め32人が参
加して、昨年10月国分市
にオープンした県上野原
縄文の森を見学し、適材
適所に県産材を活用した
施設の構造などを学んだ。
同部会では年間事業計
画に基づき、毎年建物見
学会を支部会員負担で実
施しており、今回は国分
・始良支部が担当した。
昨年8月に県産材の活用
について、県林業振興課
職員講師による研修と意
見交換会を行ったことも
あり、県内産の木材・竹
などが多用されている同
施設を見学施設に選定し
た。

当日は、同施設の設計
監理JⅤ一員であった(有
三反田藤男設計事務所の
浜田技師から、適材適所
に県産材が使用され、巧
みに構成された空間によ
る建物などを詳細に説明
を受けた後、上野原台地
に生きた古代の人々の生
活をほうふつとさせる縄
文時代早期後葉の石器・
土器などの展示物や前葉
の大集落を再現した広大
な屋外施設を見学するな
ど充実した見学会を行っ
た。

なお、施設見学会に先
立ち、勾玉作り実習や連
穴土坑による卵とぎつま
み体験をした。

鹿銀の県内景況

受注状況厳しさを増す

鹿児島銀行はこのほど、
最近の県内景況を発表し
た。総括では「景況は依
然と厳しさが続いている」
と報告し、建設関連は
「公共工事発注が前年を
大きく下回った」とまと
めた。

また、主要建設資材卸
売業者の売上げ(1月)
は、工事量の少なさを反
映し、低調に推移してい
る。生コン生産(1月)
は、公共・民間工事向け
ともに低調で12・9%の
大幅減となり、販売競争
は依然厳しい。木材関係
も、製材品は住宅建設の
不振から生産、出荷とも
に低迷している。この間
は、前年比3・5%増と
4カ月ぶりに前年を上回
った。用途別では、持ち
続いた。

日建士連 連合会賞「作品賞」

5月30日まで募集

日本建築士会連合会
(日建士連、宮本忠長会
長) は、第18回連合会賞
を5月30日まで募集する。
今回は「作品賞」だけを
募集し、「業績賞」は募
集しない。

連合会賞は、社会的に
優れた建築作品の設計者
である建築士会会員と、
受賞作品にかかわった建
築主、施工者を合わせて
表彰するもので、昭和61
年から日建士連が実施し
ている。

作品賞の募集に当たっ
て、松本陽一審査委員長
は「規模の大小にとらわ
れず、新奇性より地域環
境などに根差した心暖ま
るような建築を尊重」す
るとともに、「先端技術
に限らず、低コストでの
開発の有効性、伝統技術
の再発見やその応用姿勢
にも目を向けていく」と
審査の考え方を示した。

応募要領は次の通り。
▽応募対象＝日本国内で、
平成12年4月1日から
14年3月31日までに竣
工し、検査済証の交付
を受けた建物(確認申
請を要しない建物は検
査済証不要)。対象者
は建築士会正会員で、
応募作品は1人または
1グループ1点

▽応募期間＝5月30日ま
で。応募に当たっては
建築士会の推薦を得て
提出する

▽応募参加料＝参加は無
料。応募に要する費用
は応募者の負担

▽選考＝作品審査委員会
(松本陽一委員長) で
書類審査により候補作
品を選び、必要に応じ
て現地審査を行う

▽表彰＝優秀賞5点以内
(賞状、賞金30万円)。
10月24日の全国大会で
表彰

県内初 循環型処理施設

木くずを培養土に製品化



園田 純明社長

(有)鹿児島培養土(園田
純明社長、本社・日置郡
伊集院町)は、平成15年
1月21日付けで産業廃棄
物中間処理(木くず)許
可を取得。工場のある日
置郡東市来町養母で、木
くずと培養土などを製造

土の本格生産を始めた。
これまで畜舎の敷料や堆
肥などへの再利用はある
が、培養土などの生産は
県内で初めて。

園田社長は「17年前か
ら園芸用土の開発に取り
組み、5年前からは木く
ずを使って試験操業をし
てきた。ようやく納得で
きる製品を出荷できるよ
うになった。木くず再処
理は入口よりも、出口に
多くの課題を抱えている



1次破砕機(左)、攪拌発酵槽＝東市来町養母で

ツブ状に1次破砕し、さ
らに2次破砕機で顆粒状
としたりした。

同社では、木くずを手
でつぶすのではなく、機
械でつぶす。木くずを
攪拌発酵槽で発酵させ
、ボラ土、鹿屋土、軽石な
どを独自に配合して培養
土をつくる。荷姿は18
と10の袋入り。腐葉土
は18の袋入り。小売りから
メーカーなどへの卸もす
る。

受け入れる木くずは、
直径50センチまで、土・日
を除く午前8時から午後
5時まで。場所は市来ダ
ム入り口近く。

詳しくは同社(日置郡
伊集院町妙内寺1-71-
5 ☎099-273・
3272)まで。

電子入札模擬体験講習会

実際の操作を学ぶ



電子入札の本格導入を前に真剣に聴き入る会員
＝鹿児島市のサンエールかごしまで

県管工事業協会(肥
後勝司会長)は4日、
鹿児島市のサンエール
ビルで、電子入札の模
擬体験講習会を開き、
本格的な導入に向け、
基本

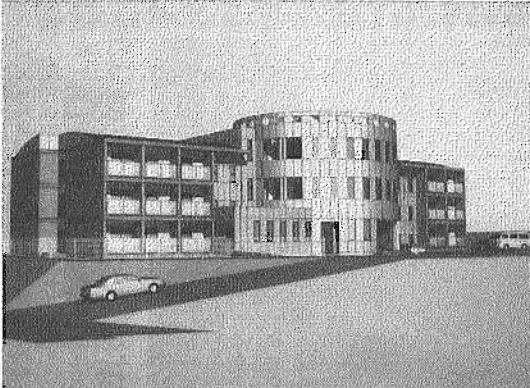
講習会には会員ら約
60人が参加、2組に分
けて講義が行われた。
講師は西日本建設業保
証(株)鹿児島支店の但馬
基由、丸田早苗両氏が
務め、電子入札と電子
認証などの基本事項を
解説した。

このあと、参加者は
実際にパソコンを使い、
講師の指導を受けなが
らPIN(暗証番号)入
力、利用者登録、入
札案件の検索といった
一連の操作から入札書
等の送付、落札結果の
確認までの流れを体験

手軽で便利な
料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

鹿児島国際大学
国際交流会館新築
工期内の無事完成を祈念

学校法人津曲学園(津曲貞春理事長)は6日、鹿児島市の同大学「国際交流会館」の新築工事にあたり、鹿児島市の同大学で安全祈願祭を行い、大無事無災害の安全施工を祈念した。



国際交流会館完成パース(上)と玉串を捧げ安全を祈願する清藤社長ら



鹿児島市の同大学で

ウルトラドーム工法見学会

コストを大幅削減

三井建設(清井社長)は6日、鹿児島市大野岳で、大野岳ファームポンドのアルミ合金製の屋根工法(ウルトラドーム工法)を適用し、わずか1カ月程度の短期間でドーム径49・35メートル高さ8・9メートルのドームを完成させた。



アルミ合金製の屋根を見学する参加者

「ウルトラドーム工法」の見学会として、全国で初めて設置した。同工法は、農業用水タンクに初のアルミニウム合金製のドーム屋根を適用するもので、ファームポンドの落水期間が19日、現地施工は約1カ月と短縮された。

大野岳ファームポンドは、PC(プレストレストコンクリート)製の農業用水タンクで、内径50メートル、水深6・5メートル、容量1万3000トンと、国内のファームポンドとしては大型のもの。同社は、既設の農業用水タンクに国内最大級のアルミニウム合金製屋根工法(ウルトラドーム工法)を適用し、わずか1カ月程度の短期間でドーム径49・35メートル高さ8・9メートルのドームを完成させた。

名瀬市で電子入札講習会
実践的な操作を学ぶ

名瀬市の奄美建設会館で4日から6日にかけて、CALIS/EC電子入札講習会があり、国土交通省の電子入札本格導入を前に参加者らはパソコンを使って実践的な操作を学んだ。



パソコンを使い実践的な操作を学ぶ参加者

C造3階建延べ1726・38平方メートルの会館を新築する。竣工予定日は10月31日。施工業者は次の通り。
設計・監理(有)三反田藤男設計事務所▽建築本体(有)新川組▽給排水衛生設備(有)昭昭テクノ工業▽電気設備(有)川北電



講師の説明に真剣に耳を傾ける参加者

同講習会は県建設業協会が主催して県内各地で開催しているもので、名瀬市では1日10人ずつ計30人が参加し、パソコンを使って電子入札の基本操作及び入札シミュレーションを行った。

高品質の新技术解説
アンカー部門地区研修会

KTB協会は6日、鹿児島市のマリパレスかごしまでアンカー部門地区研修会を開き、実際に出水市の針原川災害箇所等にも採用され多くの実績を持つ同技術について、専門的な立場から工法の詳細や施工上の注意事項を説明、参加者らは講師の説明を真剣に聴講した。

講師を務めた日建学院の和田課長代理は「本講習会は電子入札のための事前準備で、実際の入札でどういった形のものがあるか、またシミュレーションを通しての入札の流れを分りやすく学んでいただくのが目的。今後、鹿児島市に電子入札に対応することになる経営陣の方々にも覚えていただく」と会社全体での取り組みの必要性を訴えた。

同社は、現在施工中も含めて11基の実績があり、大野岳のほかにも九州農政局発注の輝北2号ファームポンドと石之脇ファームポンドで同屋根を施工中で、共に3月末まで

建設業許可申請
変更届・資格審査申請・官公庁許認可・登録申請手続き致します
許認可コンサルタント
安田行政法務事務所
鹿児島市中央町5-41 TEL 252-8084
トーカンマンション白雲602号 FAX 252-1144